



# 「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」  
愛知連絡会  
〒466-8655  
名古屋市昭和区妙見町19-2  
愛知保険医会館内  
TEL ; (052) 832-1349  
FAX ; (052) 834-3584

## 愛知連絡会第13回定期総会を開催



愛知連絡会は、5月26日(日)午前10時から第13回定期総会を協会伏見会議室で開催しました。連絡会参加団体の他、歯科医師、スタッフ、地方議員など45人が参加しました。

総会では江原雅博会長が挨拶とともに活動報告・方針案を提起、決算・予算案、役員・世話人体制案も提案され、あわせて一括採択されました。

江原会長は、「今年度は保険でより良い歯科医療の請願署名に6万筆を目標として取り組む。また、子どもの歯科矯正についても引き続き課題としたい。歯科医療関係者は『歯科矯正＝自費』と考えるが、国民や医師は『必要な医療は保険に入れるべき』と考える。

これまであたり前だと考えていたことも頭を切り換えていかないと歯科医療は良くならない。歯科医療関係者だけでなく医師や国民・患者と連携して歯科医療を改善していきたい。」と挨拶しました。

### 2019年度活動方針

- ①「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」に、目標6万筆で取り組む。取組み期間は11月末まで。
- ② 県内自治体で「保険で良い歯科医療を求める意見書」採択運動に取り組む。
- ③ 若い世代の離職など、歯科技工士の現状を改善する運動に取り組む。歯科技工士との対話を行い、連絡会の活動に参加してもらえるよう働きかける。歯科衛生士とも協力関係が作れるよう取り組む。
- ④ 糖尿病予備群への歯科検診事業の実施、子どもの歯並びの治療の保険適用、口腔崩壊に結びつく子どもの貧困の解消など、患者・住民の要望を汲み上げて、実現のために県内自治体、関係各所に働きかける。
- ⑤ 地方議員に歯科医療の現状や重要性を訴える活動を行う。
- ⑥ 市民向けの取り組みとして、市民公開講座や出前学習会を開催する。連絡会参加団体と協力して、年齢や対象、テーマなどを広げて取り組む。
- ⑦ イレバデー(10/8)からイイハデー(11/8)までのアピール月間に街頭宣伝などを行い、歯の健康や歯科医療改善の必要性を訴える取り組みを行う。
- ⑧ 連絡会ニュースを定期的に発行する。
- ⑨ 事務局会議・世話人会の定期開催と組織の強化をめざす。
- ⑩ 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会に参加し、全国の運動と協力・共同した活動に取り組む。

### 総会記念企画 シンポジウム

「学校検診で歯並びが悪いと言われたら…」

～子どもの歯科矯正を保険適用に～

総会記念企画は「学校検診で歯並びが悪いと言われたら…～子どもの歯科矯正を保険適用に～」をテーマにシンポジウムを開催しました。

シンポジストは宮沢裕夫氏(歯科医師・長野県保険医協会会長)、小尾直子氏(「保険適用拡大を願う会」代表)の2人、コーディネーターは大藪憲治愛知連絡会副会長が務めました。



### ＜小尾直子氏＞

小尾氏は、なぜ自身がこの運動に取り組んだかを「四年前に自分の子どもの検診結果通知に『要治療』と書かれていたが、治療には高額な費用がかかる。なぜ保険適用ではないのか疑問を持ち続けている。納得いかない制度を変えようと活動を続けてきた」と説明しました。

その後、まず山梨県内の各自治体で請願書が採択されるよう市議員などに働きかけ、多くの自治体で採択を実現してきたこと、日本学校歯科医会や文科省・厚労省などを訪問し、要望書を提出してきたことなどを話されました。

### ＜宮沢裕夫氏＞

宮沢氏は、小児歯科医師の立場から課題と展望について報告しました。

学校保健安全法、昨年成立した成育医療等基本法の内容などを解説し、子どもの歯科矯正を保険適用に持って行く方法は、法律・システムとしては幾つも考えられる。



中医協においても「口腔機能成長発育のための歯科の関与」として乳幼児期～学齢期まで対応が必要とされていると述べました。

また、小児歯科治療の目的について「健全な発育を障害する異常や口腔疾患についての予防と治療を行い…健全な永久歯咬合に育成

すること」にある。広義の「咬合誘導」とは、健全な咬合を育成する小児歯科診療そのものであり、小児矯正は顎などの成長をより多く利用し、ゴールを理想的咬合ではなく「受容できる咬合」に置くことであると述べました。

最後に小児矯正のメリットとデメリットを解説して発言を終えました。

＜質疑・意見交換＞

会場からの質疑・意見交換では、口唇口蓋裂などが親の会の活動で保険適用されたこと、中医協の議論でも歯科矯正の保険適用を求める意見が出されていることなどが紹介され、小尾氏の運動に共感し応援する声が多く出されました。

まとめとして、小尾氏からは「他県にも運動の輪を

広げたい」、宮沢氏からは「きちんと診断して、きちんと対応するシステムを作

る必要がある」と述べられました。



総会参加者と、シンポジウムの様子

# 全国連絡会

## 「6.6 歯科総決起集会」を開催

「保険でより良い歯科医療を求める」6.6 歯科総決起集会が、衆議院議員会館で開催され、350人が参加しました。愛知からは江原雅博愛知連絡会会長、大藪憲治同副会長をはじめ、12人が参加しました。

集会では歯科医療充実に必要な予算の確保、診療報酬の大幅引き上げ、患者負担の軽減を求めるアピールが採択されました。

開会挨拶は宇佐見宏全国連絡会副会長が「歯科医療費のシェアは7%に押さえられ、匡による歯科医療費警視正策に憤りを感じる。歯科医療費総枠拡大を国民的な運動にしていきたい」と決意を述べました。

基調報告では雨松真希人全国連絡会会長が「骨太方針2018では、歯科の重要性

を強調しているが、それを実現する歯科医療費が確保されていない。歯科医療危機打開には総枠拡大と患者負担軽減が必要。本日の集会をその第一歩にしていこう」と訴えました。

フロアからは患者、歯科医療従事者などそれぞれの立場から次々と実情報告や署名運動に取り組んでいく提起がされました。

発言の合間に、参加された国会議員（14人）から歯科医療充実に尽力していくと決意表明されました。

閉会挨拶では榊原啓太全国連絡会世話人から「ここで共有できた思いをもとにさらに運動を進めていこう」と締めくくられ、会を終えました。

### 「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名

愛知の集約状況は、目標6万筆に対して、13,212筆、目標達成率22.0%です。(7月18日現在)  
周りの人にもう一回り呼びかけを広げましょう。

#### 集会概要

- 開会挨拶 宇佐美宏さん (全国連絡会副会長)
- 基調報告 雨松真希人さん (全国連絡会会長)
- 閉会挨拶 岩下明夫さん (全国連絡会副会長)
- 各地・各分野からの発言 14人
- 集会参加国会議員 14人
- メッセージを寄せられた国会議員18人

